



小値賀っ子だより



「島から日本一楽しい学校を」 令和2年7月17日 第5号 校長 重村誠一郎

健康で安全な夏休みを



長く感じた梅雨もようやく終わりが見えてきた様子です。今年の梅雨は小値賀でも大雨が多く、安心メールで子供たちの送迎をお願いすることが度々ありました。保護者の皆様のご協力により、安全な登下校が確保されました。本当にありがとうございました。一方で、令和2年7月豪雨では、九州だけでなく多くの地域で甚大な災害が起こりました。お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。終業式では、被災された方々が一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈りしながら、子供たちと一緒に黙とうを捧げたいと考えています。

コロナの混乱で始まった今学期でしたが、後半には授業参観が2回実施できました。保護者の皆様に、子供たちが担任の先生としっかりスタートできている様子を見ていただけたことが、学校としても安心材料の一つになりました。また、日々の学校ではコロナ対策を十分に行いつつ、6年生が朝から挨拶運動や草取りのボランティア活動を行ったり、昼休みには学年入り混じって遊んだり、休み時間を返上して校長室に来て暗唱の合格に挑戦したりと、どの場面でも子供たちの活発な姿が見られました。昨年度からの取組である「いいことニュース」が新1年生からたくさん集まったことも嬉しい出来事でした。



ボランティア活動の様子

来週から夏休みに入ります。コロナにより昨年同様とはいかないことも多いかと思いますが、何より皆様が健康と安全第一でお過ごしになることをお祈りしています。

【1学期の学習面について】

2度の臨時休業があったことで、保護者の皆様には学習面の不安を感じていらっしゃる方も多いかと思えます。小値賀小学校が夏休みの短縮をしなかった主な理由について、下記のとおりお知らせします。

- ◇ 臨時休業終了時点で文科省が定める授業時数を満たしていたこと。
 - ◇ コロナ対応で1学期の行事の多くがなくなり、毎日の授業が順調に進んだこと。
 - ◇ どの学年も落ち着いた学習態度が身に付いており、集中した雰囲気での授業が進めやすいこと。
- 等です。特に3つ目の理由については、小値賀小の宝物の一つとして子供たちとも共有し、これからも大事に育てていきます。また、2学期以降も行事のスリム化や朝の帯タイム等の時間を有効に使うなど、今後も責任をもって指導に当たっていきます。

【今年度の運動会について】

今年度の運動会は、10月11日(日)の午前中開催とします。修学旅行や宿泊学習等、もともと行事が目白押しの2学期であることや、「3密対策」、「新しい生活様式」を取り入れた実施で、半日開催を決定しました。さらに各地区でのお祭りの時期とも重なり、保護者の皆様には公私ともに忙しい時期と思えますが、ご理解と協力のほどよろしくお祈りいたします。

